

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

現代社会

(100点
60分)

注意事項

1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

2 この問題冊子は、37 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。

3 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例1)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例1)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

また、「すべて選べ」や「二つ選べ」などの指示のある問いに対して、複数解答する場合は、同じ解答番号の解答欄に複数マークしなさい。例えば、

20

と表示のある問いに対して①、④と解答する場合は、次の(例2)のように解答番号20の解答欄の①、④にそれぞれマークしなさい。

(例2)

解答番号	解 答 欄
20	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

4 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

5 問題冊子は最後に回収します。監督者の指示に従って返却しなさい。

現代社会

(解答番号 ~)

第1問 「現代社会」の授業が始まった頃に先生が、社会で起こる問題を考える際に手掛かりとなる次の【考え方A】・【考え方B】と、様々な制度や政策を紹介してくれた。そして、問題を自分で考え、結論を導き出すことの大切さについて話してくれた。このことに関して、下の問い(問1～4)に答えよ。

【考え方A】

幸福な社会は、どのようにすれば実現できるだろう。そもそも人はどんなときに幸福を感じるだろうか。それは、楽しいことや快適なことがあったときではないか。反対に、人は苦痛を感じるときに不幸なのではないか。

人間の基本的な性質がこのようなものであるなら、「快」の量が多いほど、また「苦」の量が少ないほど、その社会は幸福な社会ということになる。「快」と「苦」は量として測定でき、幸福の量を計算することが可能であれば、「快」の総量から「苦」の総量を差し引いたものを、幸福量とみなすことができる。

そうであるなら、社会全体の幸福量を最大にすることによって、幸福な社会が実現できることになる。

【考え方B】

望ましい社会を構想する場合、正義とは何か、公正な社会はどのようにあるべきか、という問いに答えなければならないのではないか。そのために思考実験を試みよう。

自分がどのような境遇になるか分からず、また、境遇を決めることもできないという条件で、生まれ変わることができるとする。この場合、自由が奪われた境遇や、恵まれない境遇に生まれ変わりたいなどと、ほとんどの人は思わないだろう。

そうであるなら、社会の全メンバーの自由を最大限尊重しつつも、実際に恵まれない境遇にある人に対して、生活を改善していくような社会が望ましいことになる。

問 1 【考え方A】には、ある基本的な考え方が含まれている。それは次のうちどれか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 個々人によって幸福の感じ方は異なる。
- ② 個々人に幸福を平等に分配しなければならない。
- ③ 個々人には幸福を求める義務が最初からある。
- ④ 個々人の幸福は足し合わせることができる。

問 2 【考え方B】には、ある基本的な考え方が含まれている。それは次のうちどれか。最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 人間はみな自分が生まれた社会の影響を受けながら育つので、現在の自分の境遇に対して社会が責任をもつべきである。
- ② 人間はみな生まれた時の環境はそれぞれ別々で、一人ひとり独自の存在なのだから、各々の現在の境遇を個性だと考えるべきである。
- ③ 人間は人生を自分で選んで決定しているのだから、その意味ではみな現在の自分の境遇に対して自分が責任をもつべきである。
- ④ 人間はどのような境遇に生まれるかを自分で選んだわけではないのだから、その意味ではみな同じだと考えるべきである。

問 3 制度や政策には、様々な考え方が背景にある。【考え方A】と【考え方B】は、どのような制度や政策と関連しているか。それぞれについて、最も適当なものを、次の①～④のうちから一つずつ選べ。

【考え方A】→

【考え方B】→

- ① 投票などで明らかになった多数者の意思に基づいて、政策の基本方針を決めるような制度
- ② 累進課税によって所得を再分配するなどして、社会保障を充実させるような政策
- ③ 外国との間で、互いに旅行や学習、就労の機会が得られるようにするなど、異文化間の相互理解を促進するような制度
- ④ 様々な規制を緩和するなどして、経済活動の自由を最大限にすることを目的とするような政策

問 4 あることについて考え、結論を得るにあたり、例えば「Xである。それゆえにYである。」というように、Xという前提からYという結論を導き出す思考の形式を推論という。次の①～④のうちから推論として妥当なものを一つ選べ。

5

- ① 犯罪発生数の減少している都市がいくつかある。これらの都市に共通するのは防犯カメラの増設という施策だ。それゆえに、防犯カメラが増設されないと犯罪発生数が減らないという結論が得られる。
- ② 世界の文化、宗教にはそれぞれ独自の食文化がある。例えば、イスラム教では豚肉を食べることが禁じられている。外国から来た友達の一人は豚肉を食べない。それゆえに、その友達はイスラム教徒だという結論が得られる。
- ③ 地球温暖化が急速に進んでいる。主要な原因として大気中の温室効果ガス濃度の上昇が指摘されており、これは人間の経済活動による。それゆえに、地球温暖化の主要な原因は人間の経済活動だという結論が得られる。
- ④ 現代社会の様々な課題の一つに少子化がある。少子化が進むと生産年齢人口が減少する。生産年齢人口が減少すると経済成長率が低下する。それゆえに、少子化を止めれば経済成長率は上昇するという結論が得られる。

第2問 次の表は、「青年期と自己形成の課題」に関する夏休みの研究テーマとして、生徒たちが設定したものの一覧である。a～dのテーマそれぞれに関して、下の問い(問1～4)に答えよ。

夏休みの研究テーマ

- a 青年期におけるアイデンティティの達成
- b 葛藤を感じたときの対処の仕方
- c 日本における宗教や文化をめぐる考え方
- d 世界の主な宗教

問1 テーマaに関して、ある生徒は調査を進めるなかで、心理学者のマーシャがエリクソンの考えを発展させたことを知った。マーシャは、アイデンティティの状態に関して、次のア～エのように4分類していた。この分類ア～エと、それぞれに対応する例A～Dとの組合せとして最も適当なものを、次のページの①～⑥のうちから一つ選べ。 6

マーシャは、青年の職業選択などに対する関わりを、「危機」と「関与」の二つの次元の組合せによって定義した。ここで、「危機」とは自分のアイデンティティを求めていくつかの選択肢について悩むことであり、「関与」とはアイデンティティを求めて積極的に行動することである。

ア 自分自身でいくつかの職業や生き方についていろいろと悩み、答えを積極的に追い求め最終的に決定した状態(アイデンティティ達成)

イ 職業や生き方について自分自身でいろいろと悩んでいるが、積極的に解決しようとしていない状態(モラトリアム)

ウ 職業や生き方について自分自身で悩むこともなく、他者の基準に従って職業や生き方を決めてしまった状態(フォークロージャー)

エ 自分自身の職業や生き方について悩んでもおらず、積極的に決めようとしていない状態(アイデンティティ拡散)

- A 高校生の春美さんは、親から、教師になってほしいと言われてきた。しかし、高校に入ってから自分の進路について悩むようになった。自分で本を読んだり、友達の話の聞いたりした結果、やはり教師になろうと考えた。
- B 高校生の夏男さんは、中学時代にグラフィックデザイナーになりたいと思った。しかし、親からは薬剤師になってほしいと言われた。どちらにするか迷っているが、大学受験にはまだ時間があるので、それまでに考えることにした。
- C 高校生の秋子さんは、親から、医者になってほしいと言われてきた。しかし、それに対して今まで疑問を感じたことはなかった。今も、将来医者になることを目指して、医学部の受験に向けて一生懸命がんばっている。
- D 高校生の冬夫さんは、中学時代にテレビ番組を見て、警察官にあこがれた。しかし、世の中にはいろいろな職業があるので、自分に合った職業がいずれ見つかるのではないかと思い、今は趣味の音楽活動に熱心に取り組んでいる。

- ① アーA イーB ウーC エーD
② アーB イーC ウーD エーA
③ アーC イーD ウーA エーB
④ アーD イーA ウーB エーC
⑤ アーA イーC ウーB エーD
⑥ アーD イーB ウーC エーA

問 2 テーマ b に関して、葛藤を感じたときの対処の仕方に関する次の記述ア～ウと、それぞれに対応する防衛機制(防衛反応)の種類(型)の名称 A～C との組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

ア 苦手な人と話をするときに、気持ちとは反対に、思わず笑顔でその人に対応してしまう。

イ 友達とけんかをしてイライラしたときに、たまたま家にいた家族に意地悪なことを言ってしまう。

ウ 仲間たちの間で流行している服が欲しいが、値段が高くて買えないときに、「どうせすぐに、はやらなくなる」と考えてしまう。

A 合理化 B 反動形成 C 代償

① アー A イー B ウー C

② アー A イー C ウー B

③ アー B イー A ウー C

④ アー B イー C ウー A

⑤ アー C イー A ウー B

⑥ アー C イー B ウー A

問 3 テーマ c に関して、日本における宗教や文化をめぐる考え方に関する次の記述ア～ウと、それぞれに対応する名称 A～C との組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

ア 自然界に存在する様々なものには生命が宿っているとして、これらを崇拜する古代からの宗教意識

イ 阿弥^{あみ}陀^だ仏^{ぶつ}の慈悲の働きによって信心や念仏が生まれるという、鎌倉時代に武士や民衆の間で広まった仏教の考えの一つ

ウ 国学において、社会の秩序を維持してきたとされる、人が生まれつきもつ自然な心情

A 真心 B アニミズム C 絶対他力

① アー A イー B ウー C

② アー A イー C ウー B

③ アー B イー A ウー C

④ アー B イー C ウー A

⑤ アー C イー A ウー B

⑥ アー C イー B ウー A

問 4 テーマ d に関して、ある生徒が、世界の主な宗教について調べ、ボッカチオが著した『デカメロン』のなかから「三つの指輪」の物語を見つけた。次の文章は、「父なる神によって三つの民族に与えられた三つの律法」(ユダヤ教・キリスト教・イスラム教)のどれが真実だと考えるか、という問いへの比喩的な返答の要約である。文章中の指輪の比喩に託された考え方として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

昔、特別に美しい高価な指輪をもっていた金持ちが、その指輪を相続人の証^{あかし}として、それを譲り受けた息子は家長として尊敬と奉仕を受けるべきだと命じた。指輪は、幾代も経て、三人の息子をもつ男の手に渡った。指輪の由来を知る息子たちは、それぞれ、老いた父親に指輪は自分に譲るよう懇願したが、どの息子も等しく愛していた父親は、思案の末、細工師に指輪を別に二つ作らせた。どれが本物か自分にも分からない三つの指輪を、彼は死に臨んで密^{ひそ}かに息子一人ひとりに与えた。父親の死後、三人は互いに他の二人を否定し、自分こそ正当な権利を主張し得る証拠としてそれぞれの指輪を示した。だが、本物の見分けがつかず、誰が真の相続人であるかは決められなかった。

- ① 三つの律法のうちで一つだけが真実であり、それがどれであるかは、父なる神の啓示によって必ず明らかになる。
- ② 三つの律法のうちで一つだけが真実であり、それがどれであるかは、もっぱら三者相互の争いによって決められる。
- ③ 三つの律法は、それぞれの信者にとっては真実であるが、だからといって互いに他の律法を否定できるわけではない。
- ④ 三つの律法は、それぞれの信者にとっては真実であるから、互いに他の律法に対して優越性を示すべきである。

(下書き用紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

第3問 次の生徒Aのノートを見て、下の問い(問1～5)に答えよ。

9月15日

しじょう いちばとは読まない

① 市場経済(とても大切)

市場での取引を通して財やサービスを配分する＝資源配分

需要と供給の関係で価格が決まる→資源の配分が調整される

② 食料品だけでなく、③ 資金や④ 外貨なども市場で取引される

市場を通して調整がうまくいかないとき→⑤ 法や制度の変更, 政府の介入など

問1 下線部①に関連して、次の生徒A・Bの会話文を読み、他の条件に変化がないと仮定したとき、市場における需要と供給の関係からみて考えられる に入る発言として 適当でないものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。

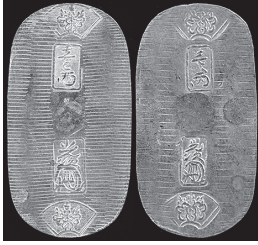
生徒A：私たちはアイスクリームをお店で買うけれど、これは市場を利用していることになるよね。

生徒B：なるよ。多くの人が日常的に使う物を市場で買うようになり、生産者も市場で売するために生産するようになった社会を「市場経済」というんだよ。

生徒A：市場経済って、いつごろできたんだい？

生徒B：市場は世界中に大昔からあったようだけど、日本で市場経済が本格的に発展し始めたのは、江戸時代になってかららしい。日本史の先生が、市場経済の発展に対応できなかった幕府はたびたび財政難に陥ったと話されていたな。

【資料】



慶長小判(左/1600年)と元禄小判(右/1695年)。どちらも額面は1両だが、後者に含まれる金の量は、前者より約5グラム(約30%)少なくなった。

(東京国立博物館所蔵)

生徒A：ああ、思い出した。幕府は何度も改革を試みたらしいね。【資料】にあるように、貨幣を改鑄して小判の質を落としたりもしたとか……。

生徒B：でも、先生は、改革がうまくいかないこともあったと話されていたな。 X。結局、物価が上昇してしまったらしい。

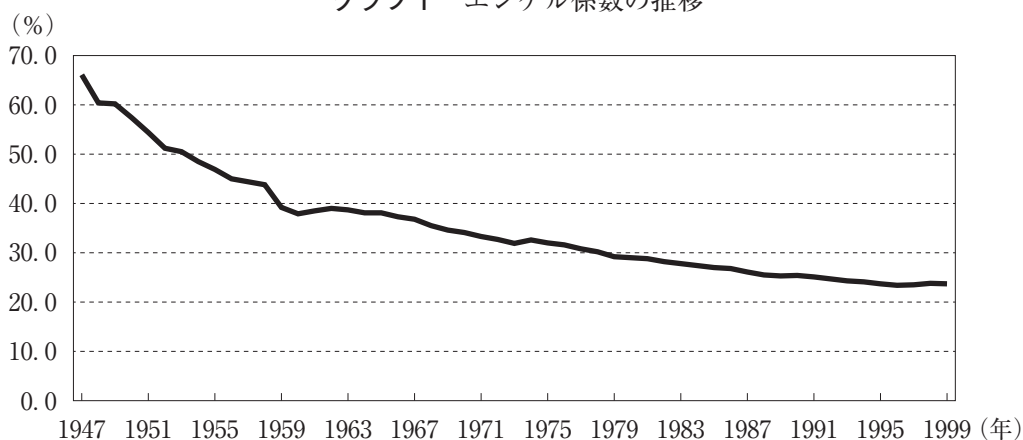
生徒A：それで、経済の面で人々を苦しめることになってしまったんだね。

- ① 商人たちは、売上額は以前と同じでも貨幣の質が落ちれば手に入る金・銀の量が減るので、販売価格を引き上げた
- ② 貨幣の質の問題のほかに、人々が市場で物を買う機会が増えたのに、それらの物の供給を増やせる生産体制がまだなかった
- ③ 質が悪い貨幣は市中で信用されなくなってしまい、商人たちは商品を、より多くの貨幣に対してしか売らなくなった
- ④ 貨幣の質が落ちると、人々は同じ額面でより多くの物が買えるようになるから、商人たちは大売出しをした

問 2 下線部⑥に関連して、消費支出に占める食料費の割合をエンゲル係数という。このことについて、次の生徒A・Bの会話文を読み、～に入るものの組合せとして最も適当なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。

生徒A：エンゲル係数は、グラフ1を見ると、1940年代は高い値を示していたけれど、その後、下がってきていることが分かるね。

グラフ1 エンゲル係数の推移



(出典：総務省統計局『家計調査年報』各年版により作成)

生徒B：これは、だね。

生徒A：その結果、教育や娯楽などに出費することが可能になり、生活が豊かになったといえるのかな。

生徒B：よくそう解釈されているよね。確かに高度経済成長期には人々の生活水準は向上したようだね。

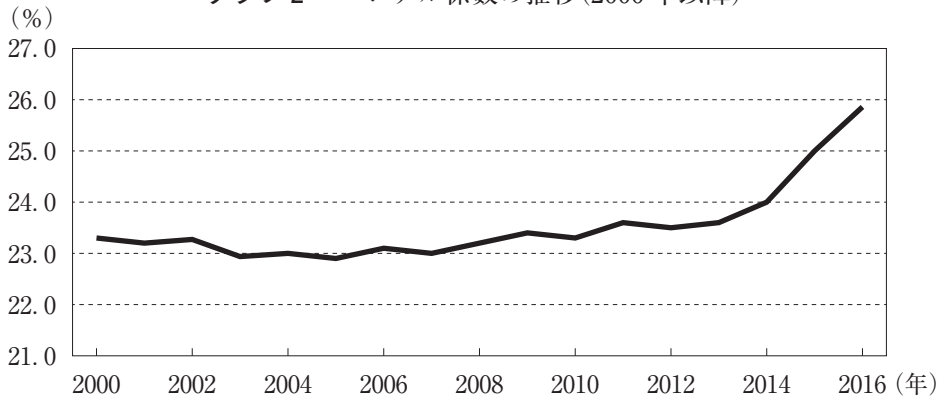
生徒A：でも、グラフ2を見ると、ここ数年またエンゲル係数が上昇し始めたね。これはなぜかな。

生徒B：それはが考えられるね。

生徒A：エンゲル係数が上昇しているということは、生活が苦しくなっているということかな。

生徒B：そう捉えることができるかどうかを確かめるには、が必要だね。

グラフ2 エンゲル係数の推移(2000年以降)



(出典：総務省統計局『家計調査年報』各年版により作成)

X に入るもの

- ア 所得が増えて、消費支出に占める食料費の割合が減少したから
- イ 豊富に食料が供給されるようになり、食品の価格が低下したから
- ウ 主食が安価な米食から高価なパン食への移行がみられたから

Y に入るもの

- エ 外食や持ち帰ってすぐ食べられる総菜・弁当などの「中食」が増えてきたこと
- オ 円安傾向で輸入食糧の価格が上昇してきたこと
- カ 世界的に人口の増加による食糧の供給が増大してきたこと

Z に入るもの

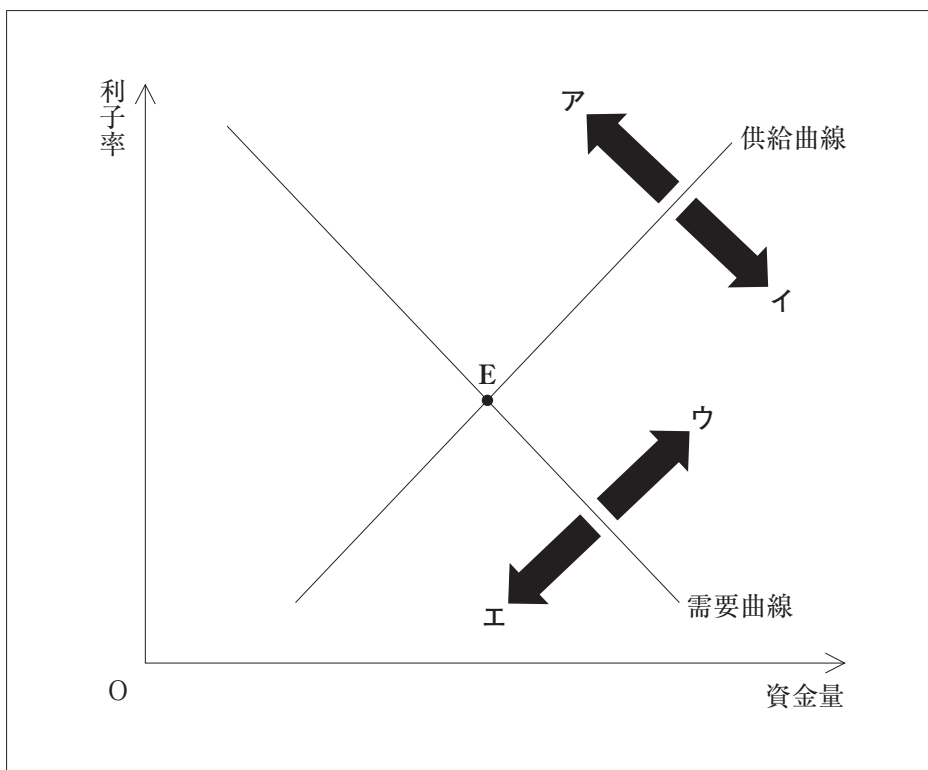
- キ 所得階層別にエンゲル係数を調べてみること
- ク 消費支出の総額が変化しているかどうかを調べてみること
- ケ 外国のエンゲル係数を調べてみること

	X	Y	Z
①	ア	エ	キ
②	ア	オ	ケ
③	イ	カ	キ
④	ウ	オ	ク

問 3 下線部㉔に関連して、生徒A・Bは、「資金」にも需要と供給とが関係しているとはどういうことかを考えようと、次の図を書いてみた。この図は、期間1年で貸し借りされる資金の量と、貸し借りに伴う利子率との関係を表しており、需要と供給は二つの曲線の交点Eで均衡している。

二人は、資金の市場でどのようなことが起こるのかについて、実線の状態のときよりも景気が悪くなって、多くの企業が生産活動への投資を抑制した場合を考えることにした。ただし、政府も中央銀行も市場への介入を行わず、他の条件も変化しないと仮定した。図についての二人の発言のうち、資金の需要と供給の変化に関する説明として適当なものを、次のページの①～⑤のうちからすべて選べ。

12



- ① 生徒A：景気が停滞して企業が投資をしなくなるような状態になると、その分の資金は、投資以外にも利用できる資金として市場に供給される。だから、供給曲線はアの方向に移動すると思うよ。
- ② 生徒B：いや、投資をしなくなる企業が増えても、投資に使わなくなった資金を誰かに貸して少しでも利子を稼ごうとする企業も多いと思うよ。その場合、資金の供給曲線はイの方向に移動するよ。
- ③ 生徒A：多くの企業は、今は投資を抑制していても次の好景気に備えて資金をできるだけ集めておこうとすることはしないはずだ。だから、資金の需要曲線がウの方向に移動すると考えられるね。
- ④ 生徒B：しかし、投資に利用しなくなった自分の資金を、以前に行った借入れの返済に使うという企業もあるだろうな。そうした企業が多ければ、需要曲線がエの方向に移動すると考えられるね。
- ⑤ 生徒A：そうだとすると企業は、投資を抑制した分の資金を他の誰かに貸して利子を稼ごうとする。そうした企業の活発な働きかけによって、均衡点Eの位置は変化しないんじゃないかな。

問 4 下線部④に関連して、次の生徒A・Bの会話文を読み、X・Yに入るものの組合せとして最も適当なものを、次のページの①～④のうちから一つ選べ。13

生徒A：外国為替について授業で学んだことを次の表のようにまとめてみたんだ。

円高になるのはどのようなときか	円安になるのはどのようなときか
・国内の景気が良いとき	・国内の景気が悪いとき
・外国の投資家が日本の株式や債券をたくさん購入するとき	・日本の投資家が外国の株式や債券をたくさん購入するとき
・日本の金利が高いとき	・日本の金利が低いとき

生徒B：それじゃあ、この表をもとに次のグラフを見たらどうなるのかな。

グラフ 円の対米ドル為替レートの推移



(出典：日本銀行 web ページ時系列データによる)

生徒A：このグラフを見ると、1970年代から何度か円高傾向が続く時期があるね。

今まで一番円高だったのは2011年だね。

生徒B：1990年代はよく「失われた10年」といわれるね。バブル経済が崩壊したあとで、日本国内の景気は良くない時期だけど、1990年代前半は円高だったね。

生徒A：一般に国内の景気が悪い場合、円安になるよね。

生徒B：でも国内の景気が悪い場合、企業は で乗り切ろうとすれば、円高になるよ。だからさっきの表にも貿易のことを書いておく必要があるね。

生徒A：どうして円高になるのかな。

生徒B： で、企業がその代金を米ドルなどの外貨で受け取れば、円と交換する必要が出てくるよね。そのとき交換する外貨が多ければ、需要と供給の関係から円高になるよね。

生徒A：そのほかに可能性としてどのようなことが考えられるかな。

生徒B：バブル経済の崩壊で赤字になったり資金が不足したりした企業が、外国の資産を処分して、 という可能性もあるね。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 輸出を増やすこと | 国内に資金が流入している |
| ② 輸出を増やすこと | 国外に資金が流出している |
| ③ 輸入を増やすこと | 国内に資金が流入している |
| ④ 輸入を増やすこと | 国外に資金が流出している |

問 5 下線部㉔に関連して、生徒A・Bは、国際的な課題となっている地球温暖化防止について議論している。次の会話文の に入る経済的な手法に関する発言として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

生徒A：社会にとって重要な財やサービスについては、政府が直接提供したり、市場に介入したりするらしいね。でも、市場は万能ではないからといって、自由な取引が原則の市場に政府が介入するというのは矛盾しているように思えるな。

生徒B：そうだけど、地球温暖化防止のような、世界中の国々が取り組まなければならない課題については、何らかの工夫が必要なんじゃないか。

生徒A：そういえば、地球温暖化防止については、市場の仕組みを積極的に活用しようという動きもあるらしい。例えば、 。

生徒B：つまり、市場の働きをうまく使って企業などを誘導し、問題解決につなげようというわけだね。

- ① 温室効果ガスの排出権を取り引きする市場をつくり、企業などがその権利を売買することは、地球全体で排出量の増大を抑制することにつながる
- ② 炭素税(環境税)を導入すれば、化石燃料の使用量を減らすための技術開発など経済活動への波及効果が期待できる
- ③ 2015年の気候変動枠組条約締約国会議(COP 21)で採択されたパリ協定には、市場メカニズムの国際的な活用が明記されている
- ④ 炭素税(環境税)の導入は、温室効果ガスを製造過程で発生させる財のコストを引き下げ、それを通じて経済成長を促すことができる

(下書き用紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

第4問 1年間の「現代社会」の授業も終わりに近づいた頃、基礎的な知識や概念を問う小テストが行われた。その答案の返却後、先生から「皆さんにも身近な課題について『問題』を作ってもらおうと思います。」と話があった。このことに関して、下の問い(問1～4)に答えよ。なお、問1～3は小テストで出題されたもの、問4は生徒たちが作成した「問題」である。

問1 衆議院議員総選挙で投票する際、次の①～④のうち、有効となる場合はどれか。また、参議院議員通常選挙で投票する際には、下の⑤～⑧のうち、有効となる場合はどれか。正しいものをすべて選べ。

15

【衆議院議員総選挙】

- ① 比例代表の投票で、候補者名を書いた。
- ② 比例代表の投票で、政党名を書いた。
- ③ 小選挙区の投票で、候補者名を書いた。
- ④ 小選挙区の投票で、政党名を書いた。

【参議院議員通常選挙】

- ⑤ 比例代表の投票で、候補者名を書いた。
- ⑥ 比例代表の投票で、政党名を書いた。
- ⑦ 選挙区の投票で、候補者名を書いた。
- ⑧ 選挙区の投票で、政党名を書いた。

問 2 国家や法，政治についての著作をもつ思想家に関する記述として**適当でない**ものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 『社会契約論』を著したルソーは，「一般意志(思)」という概念を提唱し，直接民主主義という考え方を否定した。
- ② 『戦争と平和の法』を著したグロティウスは，自然法を踏まえた国家間関係における秩序の形成を提唱した。
- ③ 『リヴァイアサン』を著したホッブズは，自然状態では，「万人の万人に対する闘争」という状況が出現することを説いた。
- ④ 『法の精神』を著したモンテスキューは，権力を分立することが重要であると論じた。

問 3 次の(ア)～(エ)のカードは第二次世界大戦後の国際政治の主な出来事を記入したものである。これらの出来事を古いものから順に並べたとき、正しいものを下の①～⑥のうちから一つ選べ。

17

(ア)

民主化の波を受けて、ベルリンの壁が崩壊し、東西ドイツが統一する契機となった。

(イ)

朝鮮半島において、戦争が勃発し、その3年後には休戦協定が締結された。

(ウ)

アメリカで、二つのタワービルが攻撃されるなど、同時多発テロ事件が発生した。

(エ)

ソ連がキューバにミサイル基地を建設しようとし、米ソ間の緊張が極度に高まった。

- ① (ア)→(イ)→(ウ)→(エ)
- ② (ア)→(ウ)→(エ)→(イ)
- ③ (イ)→(エ)→(ア)→(ウ)
- ④ (イ)→(ア)→(ウ)→(エ)
- ⑤ (ウ)→(イ)→(エ)→(ア)
- ⑥ (ウ)→(エ)→(ア)→(イ)

(下書き用紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

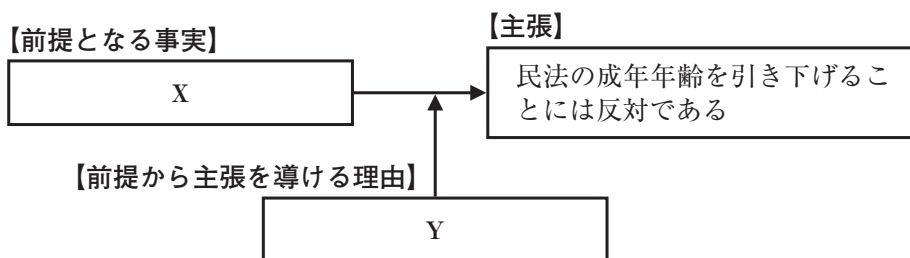
問 4 生徒たちが作成し、先生が確認・添削して完成させた次の「問題」に答えよ。

18

現在、日本では、民法の成年年齢の引下げが注目されている。そこで、この問題について考える上で参考になりそうな資料を集めた。その結果、引下げに賛成の理由は、若い人に将来の社会を担ってもらうための期待や、多くの諸外国の成年年齢が18歳以下であるということなどが分かった。また、反対の立場についても調べ、その考え方を分かりやすく示すために、次のページ以降の【資料1】～【資料6】のうち二つを使って、下の図を作った。

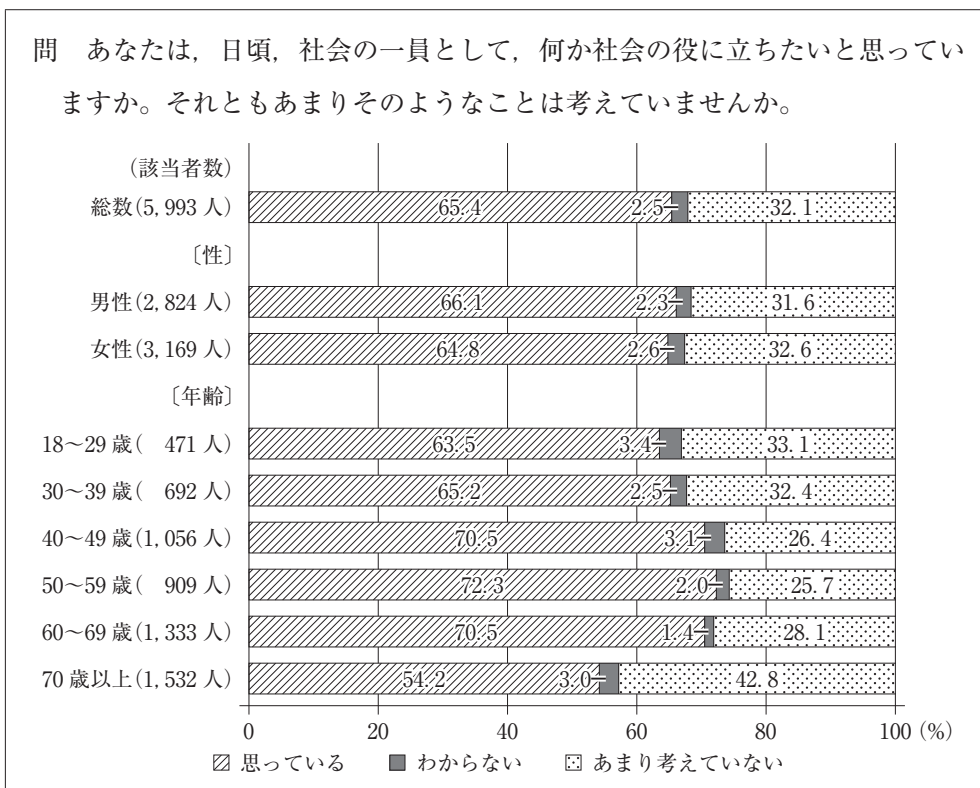
図中の **X** には、【資料1】～【資料3】のうちのいずれかから読み取った内容が、また、 **Y** には、【資料4】～【資料6】のうちのいずれかから読み取った内容が入る。

各空欄に入る内容が読み取れる資料の組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。



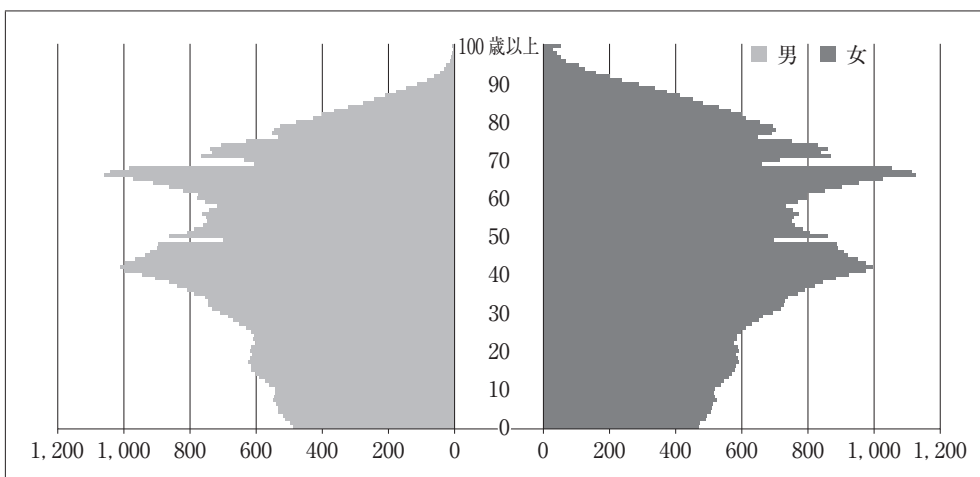
- | | X | Y |
|---|----------|----------|
| ① | 【資料1】 | 【資料6】 |
| ② | 【資料1】 | 【資料5】 |
| ③ | 【資料2】 | 【資料4】 |
| ④ | 【資料2】 | 【資料6】 |
| ⑤ | 【資料3】 | 【資料5】 |
| ⑥ | 【資料3】 | 【資料4】 |

【資料1】 社会への貢献意識



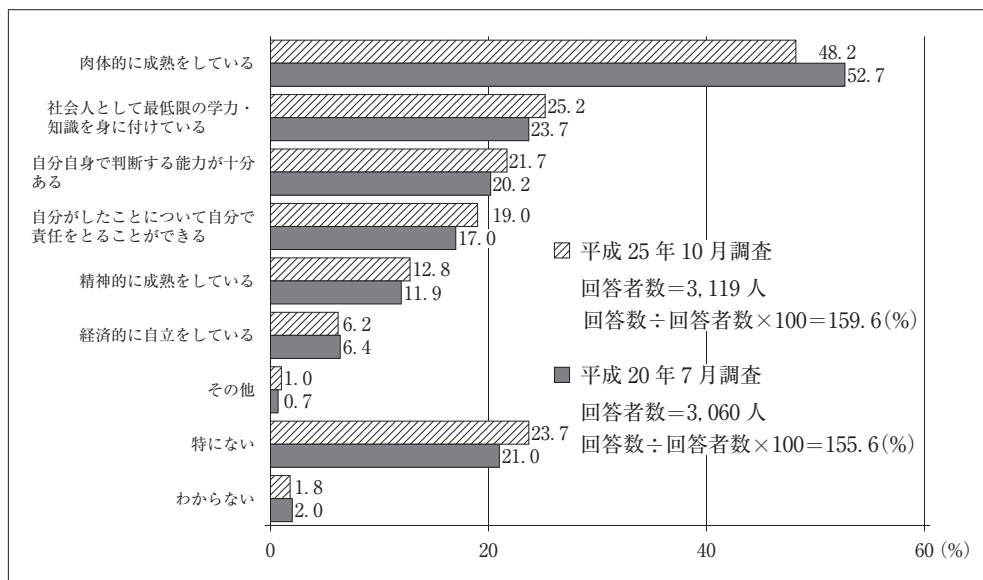
(出典：内閣府「社会意識に関する世論調査」平成29年1月調査により作成)

【資料2】 日本の人口ピラミッド(単位：千人)



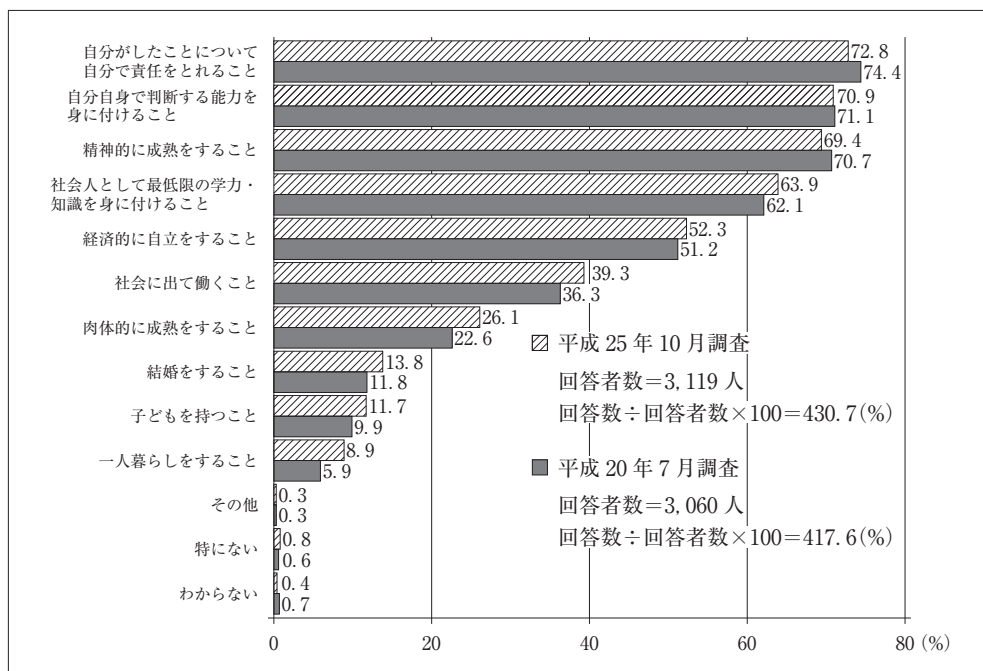
(出典：総務省統計局「平成27年国勢調査結果」により作成)

【資料3】 今の18歳，19歳にあてはまること(複数回答可)



(出典：内閣府「民法の成年年齢に関する世論調査」平成25年10月調査により作成)

【資料4】 子どもが大人になるための条件(複数回答可)



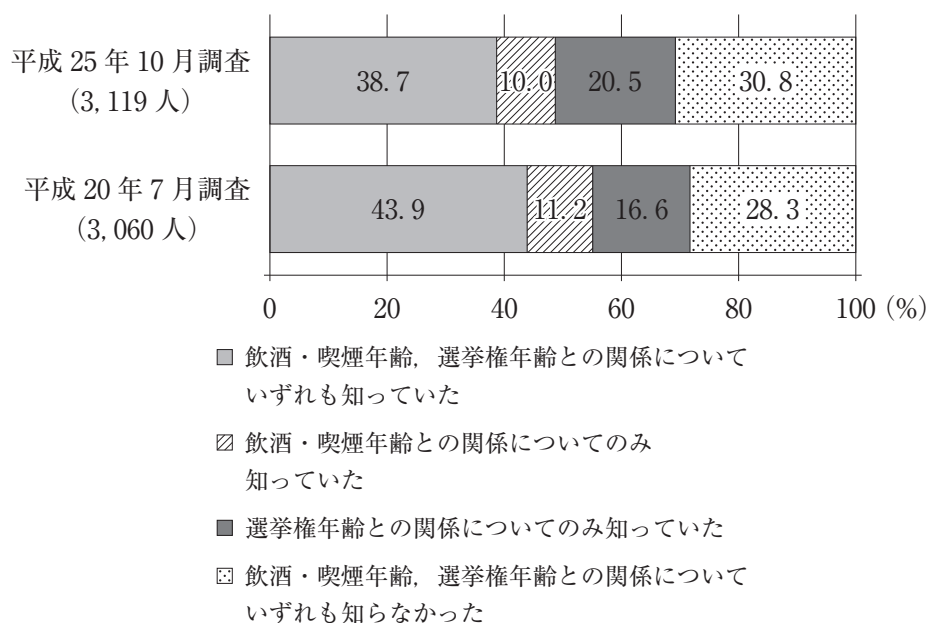
(出典：内閣府「民法の成年年齢に関する世論調査」平成25年10月調査により作成)

【資料5】 成年年齢と飲酒・喫煙年齢，選挙権年齢との関係の認知度

問 民法の成年年齢の引下げが議論されてきましたが、

- ・ 民法の成年年齢を引き下げても，飲酒・喫煙年齢は，当然には引き下がるわけではありません。
- ・ 民法の成年年齢を引き下げることなく，選挙権年齢を引き下げることとも理論的にはできるとも考えられています。ただし，民法の成年年齢を引き下げることなく選挙権年齢を引き下げることが適当でないとの意見や，それが適当であるとの意見など，様々な意見があります。（調査当時）

あなたは，この民法の成年年齢と，飲酒・喫煙年齢，選挙権年齢との関係について知っていましたか。この中から一つだけお答えください。



(出典：内閣府「民法の成年年齢に関する世論調査」平成 25 年 10 月調査により作成)

【資料6】 少年法（抜粋）

第二条 この法律で「少年」とは，二十歳に満たない者をいい，「成人」とは，満二十歳以上の者をいう。

2 この法律で「保護者」とは，少年に対して法律上監護教育の義務ある者及び少年を現に監護する者をいう。

第5問 次の文章は、ある大学の1年生向けの「法学基礎ゼミナール」の授業で、学生が日本の三権分立と司法制度についてまとめたものである。これを読み、下の問い(問1～5)に答えよ。

日本国憲法は、国の統治機構に関し、立法権を国会に、行政権を内閣に、司法権を裁判所にそれぞれもたせることにより、㉑ これらの三つの機関の権力の間で抑制と均衡(チェック・アンド・バランス)を働かせようとする三権分立の仕組みを採用している。権力が一つの機関に集中しないようにして㉒ 人権を保障するものである。

三つの機関のうち裁判所には、国会の定めた法律や㉓ 行政機関の行った処分などが㉔ 憲法に適合するかしないかを判断する権限が与えられている。また、日本の司法制度については、1999年から2001年にかけて司法制度改革審議会で議論され、その結果を踏まえて大きな変化があった。その一例として裁判員制度の創設がある。㉕ 裁判員制度は、一定の刑事裁判の第一審に、国民が裁判員として参加して、裁判官とともに裁判をする制度である。

問1 下線部㉑に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

19

- ① 裁判所は、国会が制定する法律について、違憲の疑いがあるときには、具体的な事件の裁判がなくても、違憲審査をすることができる。
- ② 国会は、憲法において唯一の立法機関とされているので、内閣が法案を提出することはない。
- ③ 三権が互いに抑制と均衡を図る仕組みとしては、内閣不信任決議、最高裁判所長官の指名などがある。
- ④ 議院内閣制を採る日本においては、大統領制を採るアメリカよりも三権分立が厳格に確立されている。

問 2 下線部⑥に関して、「人権は、その内容からみて許される限り、会社などの法人にも保障されるべきである。」という考え方がある。この考え方に従った場合、法人に保障されることがある人権の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 財産権と婚姻の自由
- ② 営業の自由と表現の自由
- ③ 居住・移転の自由と生存権
- ④ 信教の自由と教育を受ける権利

問 3 下線部③に関連して、日本の国や地方自治体の行政機関に関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 地方自治体の首長は、議会の解散権をもっていないが、議会は、首長に対する不信任決議権をもっている。
- ② 地方自治体の首長は、当該自治体の議会の議員のなかから選出される。
- ③ 内閣総理大臣は、国会議員のなかから国会の議決によって指名される。
- ④ 各省には、大臣のほかに、国会議員のなかから任命される副大臣と政務次官がおかれている。

問 4 下線部④に関して、具体的な法律の規定について、最高裁判所が憲法に違反すると判断した例として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 労働者が定年となる年齢について、性別によって差をつける使用者の取扱いを禁止していなかった労働基準法の規定は、法の下での平等を定めた憲法第14条第1項に違反すると判断したものがある。
- ② 衆議院議員選挙の議員定数の配分を定めた公職選挙法の規定について、議員一人当たりの有権者の数に選挙区の間で大きな不均衡があり、合理的な期間内に是正されなかったことを理由として、法の下での平等を定めた憲法第14条第1項などに違反すると判断したものがある。
- ③ 相続に関して、^{ちやくしゆつ}嫡出である子と嫡出でない子との間で法定相続分に差をつけた民法の規定について、法の下での平等を定めた憲法第14条第1項に違反すると判断したものがある。
- ④ 尊属殺の刑を、それ以外の殺人を犯した場合の刑よりも重く定めた刑法の規定について、刑に差をつけること自体は憲法に反しないが、そこで定められていた刑は重すぎるので、法の下での平等を定めた憲法第14条第1項に違反すると判断したものがある。

(下書き用紙)

現代社会の試験問題は次に続く。

問 5 下線部㉔に関して、「法学基礎ゼミナール」の授業で学生A～Eの5名が次のような議論をした。ア～ウの発言者がそれぞれどの学生であるかについて、最も適当な組合せを、次のページの①～⑥のうちから一つ選べ。

ただし、学生の意見は、「裁判官のみが判断をする制度」と「裁判員制度」とのどちらが望ましいと考えるかによって二つに分かれており、各学生の意見が途中で変わることはないものとする。 23

先生：日本の裁判員制度について、皆さんの意見を聴いてみましょうか。陪審法は長く停止されたままとなっており、裁判員制度ができる前の刑事裁判の判断はすべて裁判官のみでしていましたが、「裁判官のみが判断をする制度」と「裁判員制度」とでどちらが望ましいかについて、Aさん、どう考えますか。

学生A：私は裁判員制度に賛成です。一般の国民が裁判に参加することにより、審理や判断の過程が国民に分かりやすくなって司法に対する理解が進みますし、裁判内容に社会常識がよりよく反映されるようになると思います。ですから、この制度に賛成したいと思います。

学生B：裁判官にだって日常生活はあるのだし、裁判官も他の人々と同様に常識があるとします。

学生C：私もそうと思いますが、一般の国民の意見を裁判の内容に反映させる必要性は高いので、裁判員制度は良いものだと思います。

学生D：私も裁判員制度に賛成です。

学生E：どうしてそう言えるのですか。国民の意見が裁判に反映されると、判断が感情的になって、無実の人が罰せられる可能性が高くなるなどするので、被告人の利益にはならないのではないですか。

学生ア：私もそう思います。裁判官は判断を無罪の推定から出発させるはずですが、一般の国民だと被告人を最初から有罪と決めてかかる人も多いと思いますので、そのような人が裁判に加わるのは刑事裁判の重要な原則にそぐわない結果をもたらします。

学生C：私はそうは思いません。一般の国民も、目の前の被告人を有罪にするかどうかを決めなければならないとなると、予断をもたずに冷静に判断するはずです。

学生 **イ**：Cさんに賛成です。裁判員に選任された場合には、証拠に基づいて判断するように十分な説明を受けますし。

学生B：仮に被告人に不利かどうかを別にするとしても、真実に反する裁判がされることは、多くの国民の望むところではないでしょう。裁判官のみによる判断の方が裁判員裁判よりも真実発見のために適切であり、これが国民の期待する司法ではないでしょうか。

学生 **ウ**：私は、裁判官と裁判員の両者が協力することで、事実の認定がより正確になると思います。ですから、真実発見のために最も適切なのは、裁判官と一般の国民とが一緒に判断する仕組みだと考えます。

先生：活発な議論がされて、とても有意義でした。皆さんの意見はそれぞれ終始一貫していましたし、理由づけもそれぞれの立場の根拠となり得るものだったと思います。

	ア	イ	ウ
①	A	D	C
②	B	D	A
③	A	E	C
④	B	D	E
⑤	A	E	D
⑥	B	E	D